

～知能情報デザイン学科で学ぶみなさんへ～

教育訓練目標

IoT（モノのインターネット）やロボット、AI（人工知能）技術など、進展する社会ニーズに対応し、コンピュータのソフトウェアとハードウェアを総合的に理解し活用できる人材が求められています。本学科では、IoT社会におけるコンピュータサービスとものづくりの効率化に資するインテリジェントな電子情報システムをデザインし、これを活用するエンジニアを目指します。

教育の特徴

- 実習を中心に、技術の理論と実際の体験を通して総理解させながら教育します。
- 基本情報技術者試験の午前試験免除制度に対応した情報技術の基礎を教育します。
- パソコン、サーバ、スマートフォンなどのソフトウェア開発からマイクロコンピュータのプログラミングまで対応するソフトウェア開発技術を教育します。
- あらゆる産業システムの基盤となる電気・電子回路や通信、制御などのハードウェア技術を理解し、実際に設計・加工・組み立て・動作させるハードウェア開発技術を身に付けさせます。
- 高い品質と効率を実現する生産システムを構築・運用する技術を教育します。

3つの柱からなる専門教育科目

1. 情報通信技術（ICT）

C言語やJava言語などによるプログラミング技術をベースに、インターネットや無線通信ネットワークなどを駆使し、多種多様なコンピュータシステムに対応する総合的なソフトウェア開発技術を学びます。



ソフトウェア開発

2. 電気電子技術（エレクトロニクス）

様々なセンサやモータを動作させる電気・電子回路技術やマイクロコンピュータ技術、産業用コンピュータを活用するシーケンス制御技術など、目的に応じた最適なハードウェアを設計・運用する技術を学びます。



電子回路製作

3. ロボティクス技術

様々なモノとデータをインターネットで介して利用するIoTやAIなどを利用したインテリジェントなシステムを構築したり、多種多様なロボットを活用する応用技術を学びます。



ロボットの制御